

年 組 名前：



つよがる
支える

〈19〉

お礼状を整理する、まちのtoolboxの担当者
—都留市上谷2丁目

まちの toolbox

(都留市)

寄付へのお礼 心込め

まちの toolbox は、2020年から、市ふるさと納税に関する電話対応など業務の一部を担っている。お礼状作りは寄付のリピート率を上げる方法を話し合った際、「手書きのお礼状を返礼品に添えたらどうか」とのアイデアから始まった。

22年に、電話などのやりとりで印象に残った寄付者に手書きで十数枚送ったところ、「手書きのお礼状で心が温まった」といった声が寄せられたという。23年に市内に住む主婦5人の協力を得て、本格的にお礼状作りを始めた。

寄付への感謝や寄付金の使い道伝える定型文に加え、「水がきれいな場所です」「ふるさと時代祭りは迫力があります」など、都留の魅力に触れた一文を添えます。

え、約5千通作成。交流サイト(SNS)などで反響を呼び、寄付のリピート増にもつながる効果があった。今年には市内の主婦や学生、高齢者ら約100人が協力。11月までに約2万5千通を送付した。ふるさと納税事業部の志村幸恵部長によると、ふるさと納税は年末に集中するといいますが、2年度内に4万通を目標に作成していきたい(志村部長)と話す。

お礼状の作成は来年分以降も継続して行う予定。志村部長は「市民一人一人が市の広告塔としてプライドを持って取り組んでくれている。地域の人たちと協力して都留の魅力を発信し、関係人口の増加にもつながってほしい」と意気込んでいる。

〈森航平〉

第1、3土曜日に掲載

(2024年12月7日付 山梨日日新聞19面)

問1 都留市の一般社団法人は、地域住民と共に、何に取り組んでいますか。

.....

問2 今年は何人が協力して作業を行っていますか。

.....

問3 年度内の目標数を教えてください。

.....